

青少年だより かけ橋

令和3年度 第6号 <9月発行>

音更町教育委員会

子どもの万引きはなぜ起こるのか？

かつて非常に多かった「少年」の万引き検挙数、補導人員数は、ここ数年で大きく減少しました。しかし、中学生及び高校生の万引きが減少しているのに対し、小学生の万引きは減っておらず、むしろ微増傾向にあります。

警視庁は、2019年に「万引きに関する調査研究報告書」を報告しました。これまでの調査では、19歳以下を「少年」として調査してきましたが、この調査では、特に小学生の万引き問題に焦点を当て、インターネットを利用して社会調査を実施し、小学生の万引きに対する保護者の意識について調査し、一般人と比較しながら分析しております。ここでは、本調査によりわかった主な結果について、ご紹介いたします。

【被害品】

- 食品類が約50%と最も多く、そのうち約83%が菓子類。
- その次に約28%と多いのが玩具である。

【犯行場所】

- 店員の少ない、コンビニエンスストアが最も多い。

【犯行動機】

- 万引きの目的意識が強く、欲しいものを狙い撃ちする傾向にある。

【家庭環境】

- 兄弟（未成年者）の人数が多い。
- 多くは末っ子で、保護者は子どもに対して放任的な傾向にある。
- 子どもだけで買い物をし、高学年ほど保護者は買ったものを把握しない傾向にある。
- 保護者は自分の子どもの成長への満足感が低い回答者が多い。



小学生の犯罪の7割は万引きです。

非行歴を何度も重ねると、計画性が高まるだけでなく、重要犯罪の入り口になり、さらに深刻な事件を引き起こしかねません。万一、万引きをした場合は、その動機についてしっかりと見極め、初期の段階で店側に連れていき謝らせ、親の悲しい気持ちを真剣に伝え、そして最後まで、決して万引きを許さないことが大切です。

青少年の悩みことは青少年係へ

電話 0155-42-5855 平日8:45~17:30

北海道の少年非行の特徴は？

北海道の少年非行は、平成16年度には6,696人が検挙又は補導されていましたが、その後年々減り続け、令和元年度には1,135人、令和2年度には967人と大幅に減少しました。

しかし、北海道警察が発表した令和2年度1年間における少年非行の概況によると、特筆すべき特徴や傾向があることがわかりました。

→少年による薬物乱用が増加

覚醒剤や大麻などの薬物乱用で検挙又は補導された少年は、36人と前年の倍に増加し、そのうち34人が大麻を使用していました。令和2年度の少年による薬物乱用は、過去10年間で最多となった平成30年の19人を大きく上回りました。

→小学生の万引きが増加

万引きで検挙又は補導された少年は358人でした。学職別では、高校生87人、中学生50人、小学生140人、有職少年42人、無職少年24人、その他学生が15人となっており、前年に引き続き、小学生が最も多くなっていました。

→SNSを利用した性的被害が増加

福祉犯で検挙された少年は253人で、法令別では児童買春・児童ポルノ禁止法違反に次いで青少年健全育成条例違反が多く、合わせて9割を占めていました。また被害少年199人のうち、児童買春や淫行などの性的な被害にあった少年は150人で、学職別では高校生が83人で最も多く、ついで中学生が42人となっていました。特にSNS等を利用して性的被害にあった少年は95人で、昨年と同様に約6割を超えました。

地区青少年健全育成会の紹介

■ 地区青少年健全育成会の取り組み

地区青少年健全育成会は、各中学校区を単位に音更・共栄・下音更・緑南・駒場の5つの育成会があります。各育成会は、PTA・学校・地域の代表や役員で組織され、青少年の健全育成を目指して、計画的・継続的な活動を展開しています。

■ 「共栄地区」の活動

1 地区内にある学校

「緑陽台小学校」「柳町小学校」「共栄中学校」

2 令和3年度の主な役員

- ・会長（共栄中学校PTA会長）
- ・副会長（柳町小学校、緑陽台小学校のPTA会長）
- ・事務局（各学校教頭、各学校指導部担当）
- ・各学校校長
- ・監査（各校PTA副会長）
- ・幹事；柳町小学校PTA生活委員長、共栄中学校PTA生活部長、共栄地区担当主任児童委員、青少年対策共栄地区指導員
- ・教員委員会；青少年指導員
- ・各町内会；各町内会長、副会長（共青健担当）

3 主な活動

- (1) 総会による年度方針決定（書面会議）
- (2) 講演会の開催（関係団体との共催も視野に入れて10月～2月に開催）
- (3) 情報紙「共青健だより」の発行
- (4) 標準語コンクールの実施（2学期中に標語募集と優秀作品の表彰）
- (5) 年度末情報交換会の開催（各学校の情報交流と活動の反省を3月に実施）